

# 令和6(2024)年度第2回 南犬飼中の教育に係るアンケート結果並びに考察

## 壬生町立南犬飼中学校

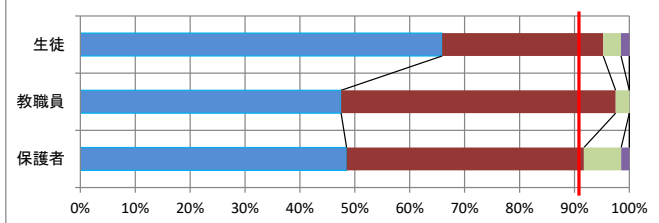
よくあてはまる    ややあてはまる    あまりあてはまらない    全くあてはまらない

### アンケートの見方

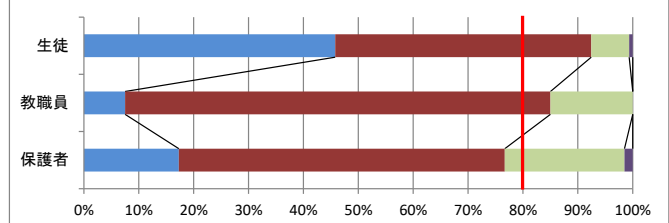
生徒、保護者、教職員それぞれが、同じ項目を「生徒の姿」を通して自己評価し、比較しています。グラフ内の縦線は、年度当初に目標値として立てた数値指標を表しています。数値指標は、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせた割合としています。  
アンケート実施R6. 12

### 学校生活全般(共通)

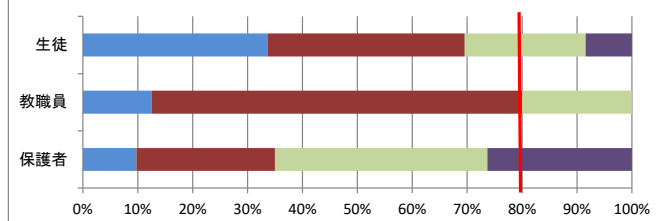
#### (1) 楽しく学校生活を送っている



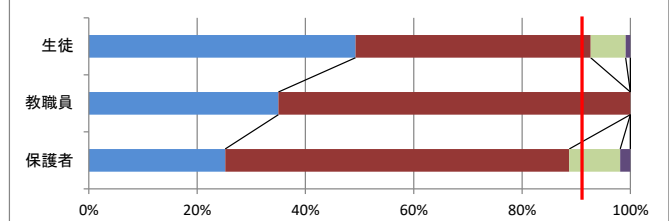
#### (2) 授業は分かる



#### (3) 読書や新聞を読んでいる



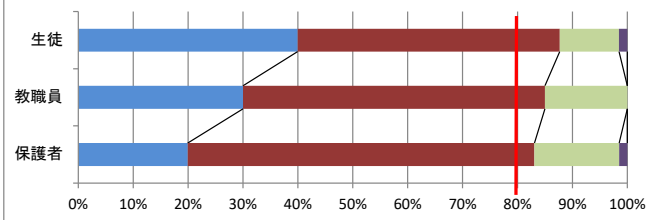
#### (4) 人権を尊重した言動



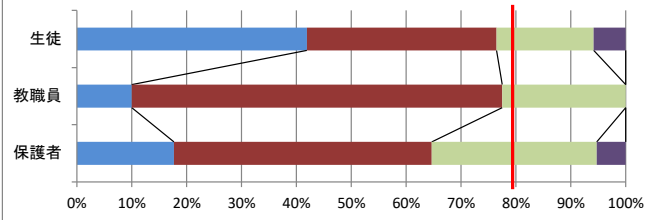
- (1)は、生徒・保護者・教職員のいずれも指標を達成し、7月同様大変良い状態が維持されています。
- (2)は生徒・教職員は、指標を達成しています。分かると答えた生徒が9割をこえていることから「授業は分かる」実態が把握できます。「探求的な学び」がどの教科でも実践されています。プロジェクターが整備されたこと、ICTを当たり前のように使いこなす子どもたちの柔軟な学び方に変化が表れています。意見や考えが共有される場面が増え、子どもたちの探究心が向上しています。
- (3)朝の読書は定着しています。しかし、7月の調査と比較すると生徒のポイントが10%下がりました。原因は2年生のポイントが大幅に下がったことが原因です。
- (4)コンプライアンスチェックなどを通して、教職員の人権感覚のアップロードに努めています。保護者の信頼が得られるようにしていきます。

## 学ぶ力を育む

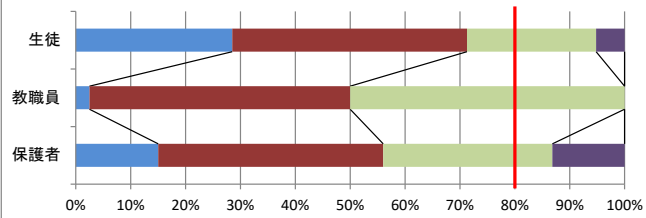
### (5)自分の考えを述べる



### (6)将来の夢や目標



### (7)家庭学習の習慣



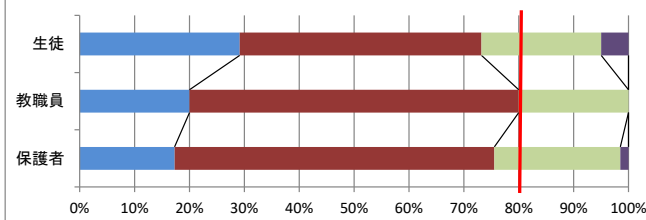
(5)は、生徒・保護者ともに指標を達成しています。特に生徒に関しては、今回指標を超えることができ、「考えを持つ」「想いを伝える」活動が充実している実態が把握できます。今後も授業やすべての教育活動において、自分の考えを発言したり、書いたりすることを丁寧に実践していきます。

(6)は、生徒・保護者・教職員のいずれも課題となりましたが、全国学力調査やとちぎっ子調査では全国、栃木県の値より大幅に高い数値になっています。

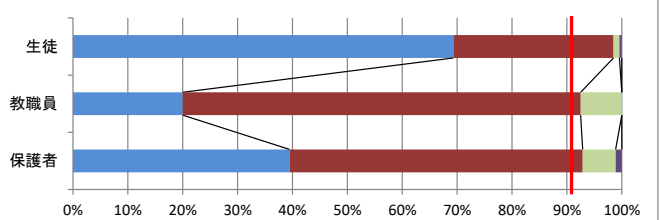
(7)は課題です。受け身ではなく、未来の子供たちのために、自ら学ぶに向かう生徒を目指していますがなかなか効果が表れません。学習の習慣化を図る工夫を継続していきます。

## 豊かな心を育む

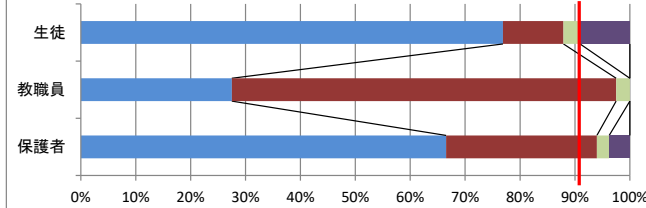
### (8)自分の良さを見つける



### (9)自他を大切にする



### (10)いじめをしない



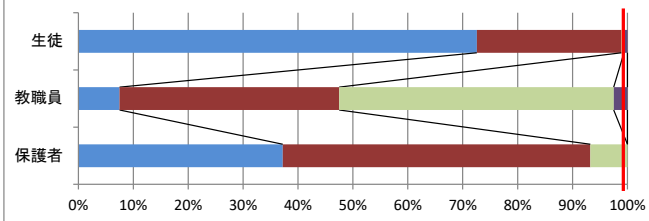
(9)は、生徒・保護者・教職員とも指標を達成し良い状態にあります。教職員は、学校全体を把握していることから、より一層生徒の良い点を見つけ、認めていきたいと考えます。なお、生徒に対して励ましの言葉掛けをより増やし自尊感情向上に努めていきます。

(10)は、7月よりも生徒のポイントが下がりました。各クラスに、「一人以上はつらい思いをしている」「助けを求めている子供たちがいる」という結果です。アンテナを高くして、意識して限りなく100%にしたいと考えます。

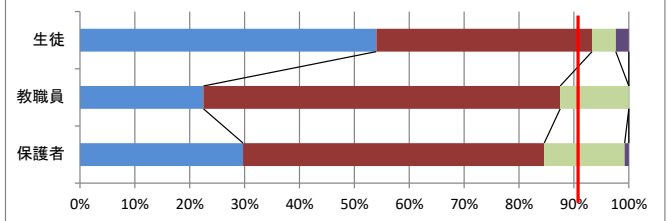
(8)は、生徒・保護者で課題となりました。教職員に関しては、8割へポイントが増えている実態から、「自分の良さを見つける」働きかけを意識して行っていることがうかがえます。引き続き、自分の良さとは何かを改めて考えさせるとともに、良さを見つけ合う活動を取り入れます。全国学力調査の全国、栃木県と比較しても「よいところがある」項目の割合は高いです。

## 健やかな体を育む

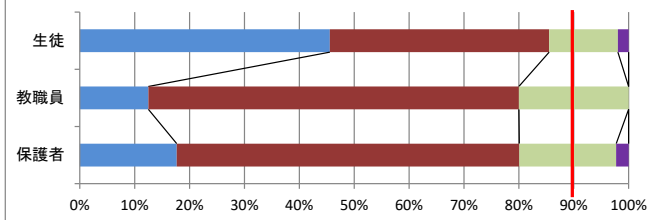
### (11) 登下校の安全



### (12) けがや病気の予防、健康の増進



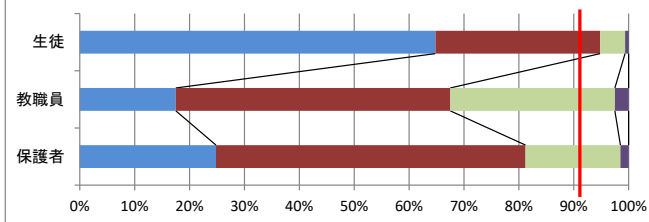
### (13) 規則正しい生活習慣



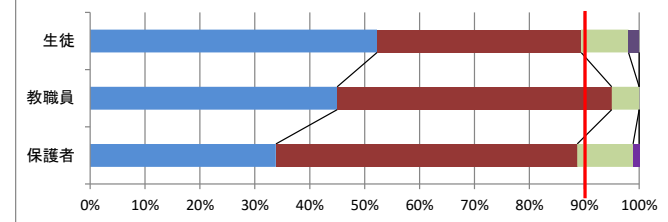
(12)は、生徒・保護者・教職員とも指標を達成し大変良い状態にあります。新しい生活様式の下、マナーを守った生活が浸透していることが要因と考えます。  
 (11)は、生徒・保護者・教職員のいずれも指標を達成できませんでした。生徒・保護者ともに9割近く安全を意識している実態は把握できます。しかし、登下校時の生徒の様子に関して、地域の皆様から何度かご指摘を受けています。交通マナーの意識は生徒、教職員、地域の大人たちとの乖離が見られます。「自分の命は自分で守る」ルールを遵守する指導を継続していきます。  
 (13)は、生徒・保護者・教職員で課題となりました。限られた時間を大切にする生活習慣を今後も心掛け、将来、幸せな時間となれるように、根気強く指導していきます。ご家庭でも、規則正しい生活習慣にご協力をお願いします。

## 地域とともにある学校

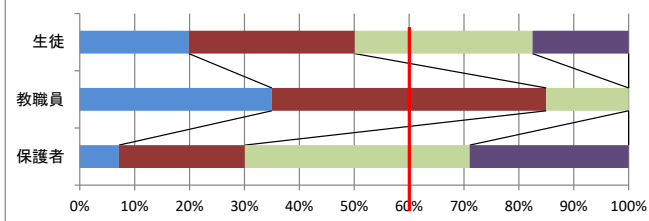
### (14) 学校内外であいさつ



### (15) 教育活動を発信



### (16) 地域行事への参加



(14)は、生徒・保護者・教職員ともに指標を達成しています。教職員は今回指標を達成しました。教職員も生徒のあいさつが充実している実感を得ています。生徒会が中心となり、毎月はじめに自主的にあいさつ運動に取り組んできた成果が見られます。今後も継続して実践していきます。  
 (15)は、保護者・教職員は指標をほぼ、達成しています。学校だより、学年だより、各種たよりやホームページによる教育活動の発信継続の成果であると考えます。また給食だよりや献立表、保険だより、アンケートなどもメールでの配信になったことで働き方改革にもつながっています。  
 (16)は、実施できる地域行事だけでなく、ボランティアとして「小さな貢献」を増やしていきます。ボランティア活動の募集に関して、参加する生徒が決まってきた点が課題です。